

台風襲来時のTV会議・ホットラインの概要 (国管理区間)

紀南河川国道事務所

取組内容

- ① 迫りくる危機を把握し、事前に回避するための避難行動、自主防災意識の向上
 - 情報伝達・避難計画等
 - タイムラインの検証(タイムライン、情報提供ツールの検証)
- 近畿地整や気象台とのTV会議を通じた連携(台風第10号)

新宮市、紀宝町
和歌山県、三重県
気象台、紀南河国

出水対応時のTV会議の概要

紀南河川国道事務所が管理する熊野川下流部は、台風接近時には、自治体(和歌山県新宮市・三重県紀宝町)および気象台と事前にテレビ会議により、情報交換を行い、台風の接近に備えている。

令和元年8月中旬に来襲した台風第10号では、台風接近時の8月13日と8月15日に、連携会議等を開催して自治体のニーズに応じた情報提供、ホットラインの事前確認を実施した。

出水の概況

出水		R1台風第10号
台風接近時期		8/14~8/15
流域平均累加雨量		557.3mm (8/12~8/16)
最高水位	成川(熊野川)	4.56m (はん濫注意水位超過)
	下田(市田川)	2.90m (水防団待機水位超過)
	高岡(相野谷川)	6.26m (計画高水位超過)

新宮市災害対策本部会議 (令和元年8月15日)



紀宝町タイムライン連携会議 (令和元年8月13日)



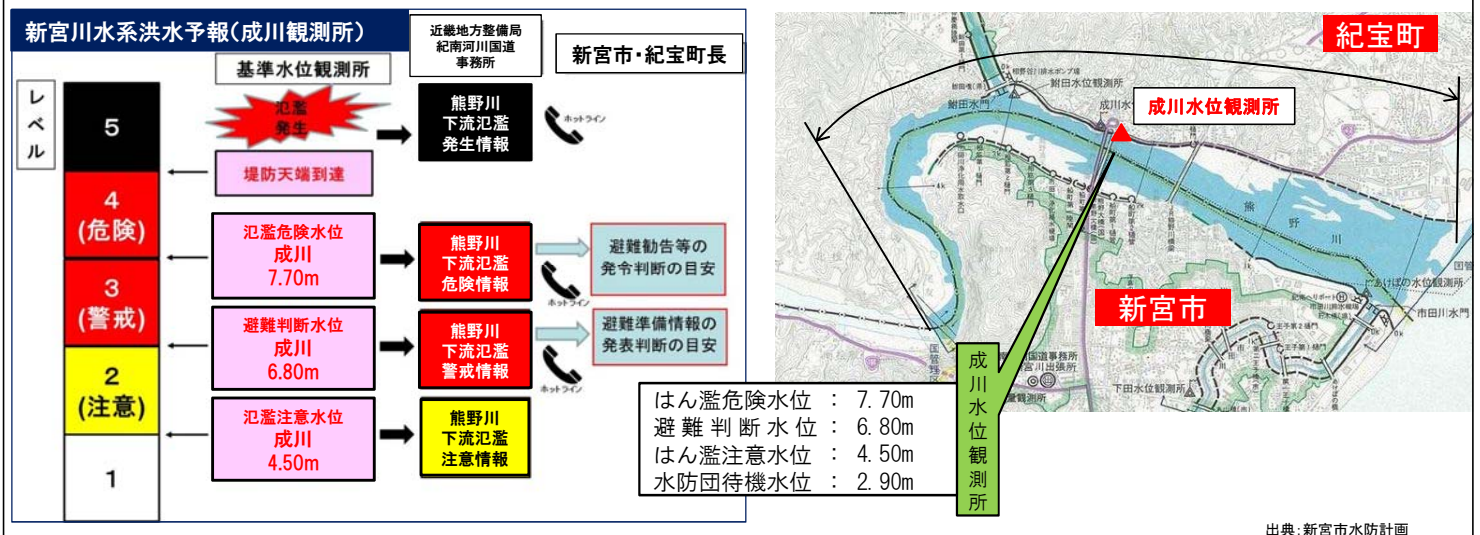
取組内容

①迫りくる危機を把握し、事前に回避するための避難行動、自主防災意識の向上
 ■情報伝達・避難計画等
 洪水時の河川状況等を河川管理者と関係市町が直接伝達するホットラインの構築
 ●洪水時における河川管理者からの情報提供等の内容及びタイミング

新宮市
 紀宝町
 紀南河国

<熊野川本川>

- 避難勧告の発令基準の目安となる氾濫危険情報の発表等の洪水予報を実施。
- 氾濫危険水位は、受け持ち区間内の危険箇所において氾濫がはじまる水位を基準水位観測所の水位に換算し、避難に必要な時間を考慮して設定。



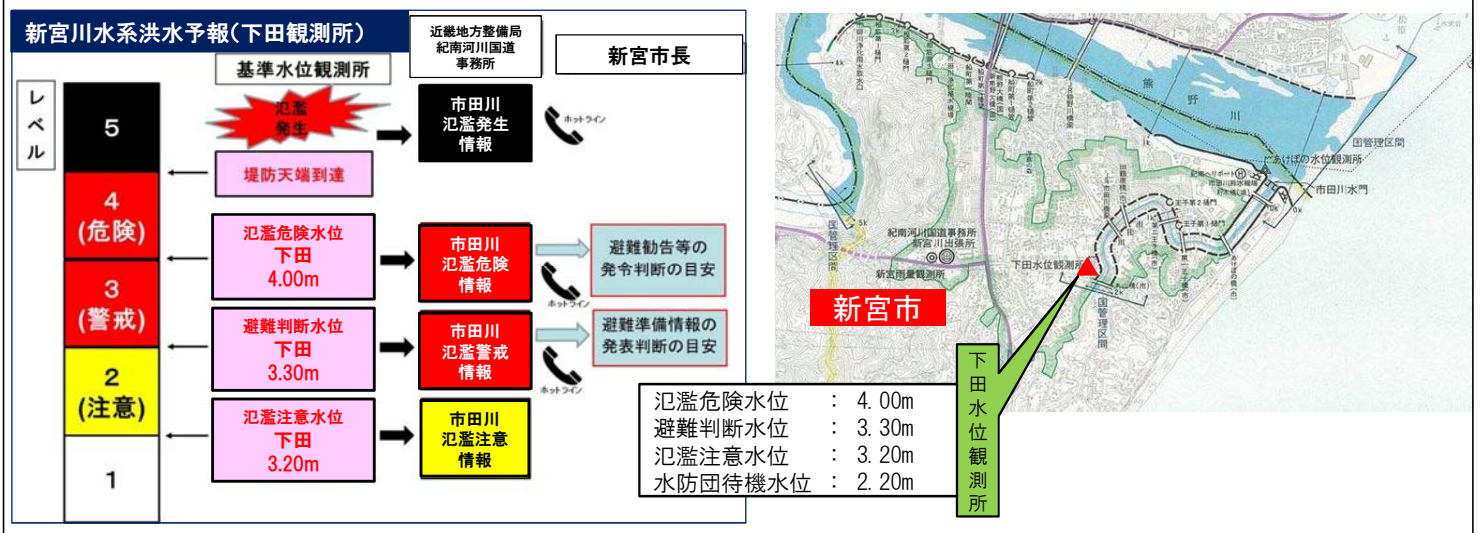
取組内容

①迫りくる危機を把握し、事前に回避するための避難行動、自主防災意識の向上
 ■情報伝達・避難計画等
 洪水時の河川状況等を河川管理者と関係市町が直接伝達するホットラインの構築
 ●洪水時における河川管理者からの情報提供等の内容及びタイミング

新宮市
 紀南河国

<市田川>

- 避難勧告の発令基準の目安となる氾濫危険情報の発表等の洪水予報を実施。
- 氾濫危険水位は、受け持ち区間内の危険箇所において氾濫がはじまる水位を基準水位観測所の水位に換算し、避難に必要な時間を考慮して設定。



<相野谷川>

○相野谷川では、高岡水位観測所において避難勧告の発令基準の目安となる氾濫危険情報の発表等の洪水予報を実施。
 ○また、輪中堤ごとに第一・第二避難判断水位を定め、情報提供を実施。

基準水位観測所名	水防団待機水位 [m]	氾濫注意水位 [m]	第一避難判断水位 [m]	陸開操作水位 [m]	第二避難判断水位 [m]	氾濫危険水位 [m]
大里	-	-	4.73	5.71	7.80	8.80
高岡	2.00	3.10	3.84	4.81	7.80	-
鮎田	-	-	6.18	6.84	7.80	8.80

避難判断目安水位の考え方

